SWALLOW NEWS
ジェイアールバス関東労働組合
JR BUS KANTO WORKERS UNION
2020.7.14
No 003
ホームページ Twitter

ジェイアールバス関東労働組合 第2回定期大会 【大会宣言】

大会宣言 ~~(案)~~

ジェイアールバス関東労働組合は、本日東大島文化センターに於いて第２回定期大会を開催した。そして２本の大会スローガンを満場一致で確認し、向こう一年の運動方針を確立した。

２月１７日の結成時から今日まで組織人数を２倍以上に拡大し、今もなお着実にたたかう仲間の連帯の輪が広がっている。この間の会社による妨害を乗り越え、申し入れから１４１日が経過した７月６日協約・協定の締結に至った。職場からは「労働協約が未締結では組合員と家族の利益が守れない」「東京都労働委員会から『法適合組合』に認定されているのに、労働協約を締結しない企業は社会から見てもおかしい」という不満が渦巻いていた。私たちはこの間会社が行った不誠実な対応を見逃せない事実として決して許さず、これからの全てのたたかいに繋げていかなくてはならない。

事業を健全に継続させていくべく本来の企業経営において、今尚横行する会社による労働組合への支配介入や差別が労使間の緊張感低下をもたらし、現場業務の安全とそこに携わる私たちの身体や健康をも脅かすことは、これまでの様々な事故・事象が証明している。ジェイアールバス関東会社は今、企業体としての在り方が問われており、私たちは会社の神経となるべくチェック機能を果たし、労働組合の在るべき姿として仲間と家族を守っていかなくてはならない。棚倉分会、そしてレールの個人訴訟団の仲間を決して孤立させることなく、最後まで守り抜いていこう。

新型コロナウイルスの蔓延により生活環境は世界規模で一変した。私たちは時代の転換点に立つエッセンシャル･ワーカーとして、日々感染の危険と恐怖に怯えながらも公共交通インフラを支えている。組合員の「雇用」と「いのち」と「健康」を守ることは、家族の安心にも繋がるものだ。その環境を勝ち取る為には、現場目線の様々な提言を繰り出し、労使議論へ高めていく必要と、併せて社会へ広く訴えていかなくてはならない。私たちはポストコロナの観点や度重なる自然災害も踏まえた『総合労働政策実現集団』として存在感を発揮していく。

２０春闘のベアゼロ、夏季手当２．２ヶ月、会社による一方的な代休処理など、この間私たちが経験した悔しい思いは、コロナ禍による厳しい経営状況を理由とした会社回答以上に、今尚我々が第二組合に留まっているという現実も大きな理由として挙げられる。様々な成果を勝ち取る為には組織としての「質」と「数」の両輪が重要であり、今後更なる取り組みと連帯を通じた組織拡大による第一組合の実現が必要不可欠である。そして企業に蔓延したあらゆる不当労働行為を撲滅し、総合労働政策の策定に向け「安全・健康・働きがいと社会に貢献するジェイアールバスの確立」を進化させたロードマップ「スワローフューチャー２０２４」を全組合員で実現しよう！

以上、宣言する。

２０２０年７月１３日
ジェイアールバス関東労働組合
第２回定期大会